# くまもと花と緑の博覧会の植栽・ディスプレイ方法

担当教員:吉田久美子

### 0. 目次

- 1. テーマ変更の理由
- 2. 研修の目的
- 3. くまもと花と緑の博覧会とは
- 4. 調査エリア
- 5. ニコライバーグマン監修大花壇
- 6. 熊本市動植物園の大花壇
- 7. まとめ・考察
- 8. 番外編

### 1. テーマ変更の理由

「フラワーパークかごしま・ くまもと花と緑の博覧会の植栽方法について」

Û

「くまもと花と緑の博覧会の

植栽・ディスプレイ方法について」

### 2. 研修の目的

○森と水の都である熊本県で どのように花が使用されているのかを知る

○植栽・ディスプレイ方法を 実際に見学することで見聞を広げる

(1) 基本理念

①"森の都"の魅力再発見と"森と水の都"の発信

②熊本地震への支援に対する感謝と復興のメッセージ

③未来への襷(たすき)~未来へつなぐ、つなげる~

#### (2) 概要

○名称:第38回全国都市緑化くまもとフェア

○愛称:くまもと花と緑の博覧会

~THE GREEN VISION 未来への伝言~

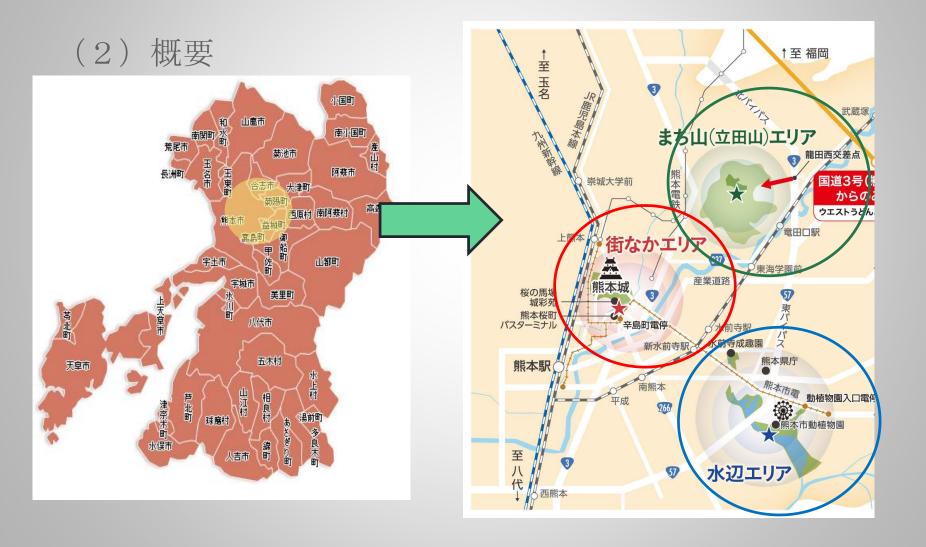
○提唱:国土交通省

〇主催:熊本市·公益財団法人都市緑化機構

○事業団体:第38回全国都市緑化くまもとフェア実行委員会

○開催期間:令和4年3月19日(土)~5月22日(日)

計65日間



(3) イメージキャラクターについて

- ○熊本県営業部長兼しあわせ部長の「くまモン」が就任
- ○2011年3月の九州新幹線全線開業をきっかけに生まれた



- (4) フラワーアンバサダーについて
  - ○フラワーアーティストニコライ・バーグマン
  - ○アンバサダーとは?…宣伝大使
  - ○北欧のテイストと細部にまでこだわる

日本らしい感性を組み合わせた

独自のスタイルの作品で知られる





- (5) 3つのエリア紹介
  - ○街なかエリア
- ①桜町・花畑エリア ⇒ ニコライバーグマン監修大花壇など
- ②熊本エリア ⇒ 竹あかりなど
- ③新市街エリア
  - ⇒ 造園技能者競技大会など
- ④下通りエリア
  - → 酒樽プラント展示など
- ⑤上通りエリア
  - ⇒ 胡蝶蘭タワーなど



- (5) 3つのエリア紹介
  - ○水辺エリア
- ①下江津エリア ⇒ 熊本市動植物園など
- ②出水エリア
- ③水前寺エリア
  - ⇒ 水前寺成趣園など
- ④上江津エリア
- ⑤庄口エリア
  - ⇒ おもてなしプランターなど
- ⑥広木エリア



- (5) 3つのエリア紹介
  - 〇まち山(立田山)エリア
  - ①お祭り広場エリア
    - ⇒木製遊具、KUMA. Camp、

木育ワークショップ、

木育おもちゃ広場、

竹の遊具、ツリーハウス



### 4. 調査エリア

- ○街なかエリア
  - ・ニコライバーグマン監修大花壇について

- ○水辺エリア
  - ・熊本市動植物園について

#### (1) 概要

- ・熊本県産花き約7万株を使用
- ・約180メートルにも及ぶ大花壇が サクラマチクマモト敷地内にて彩る
- ・会期の前半と後半で植え替え ⇒何度でも楽しめる



#### (2) 使用されていた花材

- ・ニコライ氏がつくるボックスフラワーの 色味を忠実に再現
- ・同系色ごとでまとめられた大花壇





























- (3) ディスプレイ方法
  - ・読み取るとその花の情報を閲覧できる⇒花の名前を知らない方でも親しみやすく、楽しむことができる





### (1) 概要

- ・熊本県産花き約9万株を使用
- ・高低差を活かした奥行きのある大花壇





- (2) 使用されていた花材
  - 「くまもとの美しい水」を思わせる青を見事に再現している
  - ・青だけでなく、差し色である橙色の花材も

所々に使われている





- (3) ディスプレイ方法
  - ・花が植えられているすぐそばまで足を運ぶことができ、 間近で花と触れ合える





- (3) ディスプレイ方法
  - ・球体花壇にはカセット式を取り入れている
    - ⇒悪くなった花を取り外し、

すぐ新しいものに入れ替えることが可能





### 7. まとめ・考察

- ○花や緑に詳しくなくても、どの年齢層であっても、身近に感じさせる工夫がされていた
- ○悪くなった花や緑は展示せず、常に最高な状態を保つ
  - ⇒ お客様のことを常に考えている
- ○会期の前半と後半で植え替えを行っている
  - → 集客数增加

## 8. 番外編 【一人一花運動について】

### (1) 概要

・福岡市の公共空間から民有地、個人宅まで ありとあらゆる場所を花と緑でいっぱいにする取り組み





# 9. 番外編 【一人一花運動について】

(2) 一企業一花壇について





## 9. 番外編 【一人一花運動について】

- (2) 一企業一花壇について
  - ・蝶たちが好む蜜を出す花や、幼虫が食べる植物を植えている ⇒ただ植栽するだけでなく、環境にも配慮した花壇づくり



ご清聴ありがとうございました。